



### 中山の文化財

- ◇ 国宝
  - 1 立正安国論 2 観心本尊鈔
- ◇ 国指定重要文化財
  - 3 五重塔 4 法華堂 5 祖師堂 6 四足門 7 絹本着色十六羅漢像
  - 8 日蓮自筆遺文 9 絹本着色日蓮聖人像
- ◇ 県指定有形文化財
  - 10 木造釈迦如来・多宝如来坐像 11 絹本着色十羅刹女像
- ◇ 市指定有形文化財
  - 12 総門（黒門） 13 本阿弥家分骨墓
  - 14 光悦筆扇額 15 本阿弥光悦分骨墓
  - 16 元弘の板碑

※ 1 2 8 → 原則非公開。毎年11月3日の「聖教殿お風入の儀」のときのみ公開。  
問合せ（法華経寺） TEL 047-334-3433

※ 7 10 → 非公開。問合せ（法華経寺） TEL 047-334-3433

※ 9 11 → 非公開。問合せ（淨光院） TEL 047-334-5336

回遊マップをご覧ください

### はじめに

中山は首都圏から車で30分ほどの距離にありながら、古木が法華経寺境内を核に広々とした樹林地をつくり、木立の合間から望む建造物ともあいまって美しい景観をなしています。これら豊かな緑は季節の移ろいとともにさまざまな表情を見せ、ときに時間空間を飛び越えた旅に訪れるものを誘ってくれるでしょう。中山を歩きつづめ迷い込む万華鏡。新たな回遊の楽しみをどうぞご覧ください。

### 一、金木犀 きんもくせい

9月の終わりと10月にかけて、鼻にふわりと金木犀の香りが届いておやど見回すようなことがよくあります。姿はないのにどこからともなく秋の訪れを知らせてくれます。花そのものは5mmほどのかわいらしいものですが、葉のつけねから無数に開き、あたりを芳しい香りで包みます。

金木犀は奇岩で名高い、中国・桂林に原産します。中国では「桂」の字が金木犀の類を指し、桂林は金木犀の林という意味で、その名の通り45万本といわれる金木犀が花開くと街はその香りと金色のじゅうたんに覆われます。桂林は名実ともに金木犀の里なのです。

日本には雄株だけが江戸時代の初めに渡来し、挿し木によって増やされてきました。以来、日本の庭造りには欠かせない存在となり、法華経寺や本行院をはじめとして中山界隈にも多く植えられています。ただ、毎年わたしたちを楽しませてくれる香りも遠く中国の恋人に届くことはないのだとすると、少し寂しいようでもあります。

### 法華経寺の行事

一月	新年祈禱会 子育て大祭
二月	節分会（星まつり） 大修行成満会
三月	彼岸地蔵鬼会（春分の日）
四月	花まつり 千部会
五月	子育て大祭 太田稲荷大祭
六月	宇賀徳正神大祭 清正公大祭
七月	御盆地蔵鬼会
八月	
九月	子育て大祭 秋彼岸 彼岸地蔵鬼会（秋分の日）
十月	八大龍王大祭
十一月	大荒行入行会 聖教殿御開扉（文化の日） 妙見尊星大祭（西の市） 御会式
十二月	納めの子育祭 おたきあげ 除夜祈禱会

### その他恒例行事

鬼子母神様御縁日 毎月8日・18日・28日  
月例法話 毎月18日 12時半より  
甲子大祭 甲子の日（大黒様） 利堂 午後1時より

法華経寺 TEL 047-334-3433

### 二、石榴 ざくろ

石榴は安産と子供の護り神・鬼子母神ゆかりの樹木です。中山の鬼子母神堂には日蓮宗の開祖・日蓮が自ら彫った鬼子母神像が祀られ、鬼子母神堂の門幕や龍淵橋には石榴の紋が入っております。

鬼子母神はもともとインドの鬼神で、人の子をさらっては食べていました。あるとき見かねた釈迦が500人いたといわれる彼女の末っ子を隠しました。半狂乱になって我が子を探す鬼子母神に釈迦は子供を失う母親の苦しみを説き、以後鬼子母神は仏法とともに安産と子供の護り神となりました。鬼子母神像がしばしば石榴を持っているのは一つの果実にとくさんの種がまつまっている石榴の実が多産・豊穡の象徴だからといわれています。

石榴の木は上背こそそれほどありませんが、ねじれた幹の佇まい、鮮やかな緑に紅一点の語源となった朱色の花、同じく朱色の果実と四季折々楽しむことができます。法華経寺をはじめ多くの寺に植えられ、日蓮と鬼子母神の縁を今に伝えています。

### 中山地域の お店紹介

#### お休み処 額堂（飲食店）

昭和13年に建てられたレトロな雰囲気の飲食店です。参拝後の一休みにお気軽に立ち寄りください。夏は冷たい飲み物、冬は暖かい食べ物などいろいろ取り揃えています。

住所：市川市中山2-4-13  
電話：047-334-2385  
定休日：不定休  
営業時間：午前11時～午後6時

#### お休み処 境内 田中家（飲食店）

明治創業の老舗のお休み処です。参詣や散策の休憩に最適です。おでんやあんみつ、甘酒など豊富なメニューがあり、秋冬は参詣の名物の「きぬつき」も楽しめます。

住所：市川市中山2-4-13  
電話：047-334-3962  
開業日：不定休  
営業時間：午前9時30分～日曜休

#### トムズ（飲食店）

風はコーヒートラチ。夜はお酒と家庭的な料理が楽しめる中山の隠れ家的スポットです。素材を活かした料理と落ち着いた店内は、ゆったりとくつろげる空間です。

住所：市川市中山4-2-25  
電話：047-334-0071  
定休日：月曜日（月に二回）月・火  
電話番号：047-336-2078  
営業時間：昼 午前11時～午後4時  
夜 午後5時～午後10時  
（ラストオーダー：午後9時20分）

#### まちの縁側 業舎ボックスショップ・カフェ・寺子屋

ボックスショップでは、手作り品を販売できます。カフェでちよっと一休み、寺子屋で遊びをけて、四季折々の街角アツアツ、ちよっとのぞいてみませんか？

住所：市川市中山2-4-12  
電話：047-334-2078  
定休日：水曜日  
営業時間：夏時間（4月～10月）  
冬時間（11月～3月）  
午前10時～午後5時

#### 長閑さん家（再生工房）

のんびりと、どなたでも、かき語り、さんぽ道。ちょっと寄り寄りませんか！もったいない、捨てられないを形にするお手伝いをしています。ご相談ください。

住所：市川市中山2-4-12  
電話：030-4417-0665  
定休日：不定休  
営業時間：午前11時～午後6時

### 三、銀杏 いちょう

銀杏の黄葉、鮮やかな黄色は遠くからでも眼を惹きます。宮沢賢治は童話『銀杏の実』のなかで、「黄金色」の髪銀杏の木を母親、銀杏の実を子供たちに見立て、その美しさを太陽の光と重ねています。

中山には『泣き銀杏』の悲話があります。弘安7年（1284）、日蓮の三回忌の際、法華経寺開祖日蓮の息子・日頂は法要に遅れてしまいました。これが日常の逆鱗に触れ動揺されてしまいました。そして法華経寺境内の銀杏の下で7日間泣きながらお経をあげ続けました。けれども師匠でもある日常は、十数年経って死の床に臥しても日頂を許すことはありませんでした。やがて日常が亡くなると日頂は同じ銀杏の木の下で激しく泣いたそうです。このころの銀杏を『泣き銀杏』と呼ぶようになりました。

この話は、日蓮宗の厳しい戒律と親子の情の葛藤を物語っています。奇しくも、銀杏の古木にできる気根を『乳』と呼び、母親になぞらえることができます。銀杏には親子の絆をよさぶるなにかがあるのかもしれない。

#### まるかんのお店 下総中山店（化粧品・健康食品販売）

和が香るよみかソフト新発売！みたらしキャラメルソフト用の正油をかけた和のデザートが新鮮で、甘さ控えめでおいしい。週末は、甘さ控えめでおいしいデザートが新鮮で、甘さ控えめでおいしい。週末は、甘さ控えめでおいしい。

住所：市川市中山4-9-9  
電話：047-336-4101  
定休日：第1・第3日曜日  
営業時間：午前10時30分～午後7時30分

#### 菊寿司

地元給儀の市場で仕入れた新鮮で旬の素材を使った確かな味のお寿司です。自家製の玉子焼きや季節の魚・野菜による一品料理、また、寿司ネタとシヤリが分かれているお寿司は女性に好評！

住所：市川市中山4-13-4  
電話：047-334-5214  
定休日：木曜日  
営業時間：午前11時30分～午後10時

#### 花香商店（生花小売）

創業80年、大木山法華経寺へ花を納めています。伝統行事に飾る花、ご仏前、大切な日に贈る花とカラフル・新鮮さをモットーに、また子供への声掛けを通じ、地域を見守り続ける花屋です。

住所：市川市中山4-13-5  
電話：047-334-6913  
定休日：年中無休  
営業時間：平日 午前9時～午後7時  
日祝 午前9時～午後5時

### 四、無患子 むくろじ

無患子の黄葉は初冬の柔らかな光を透かして光ります。果実は黄色で、鉛細工のような薄いカプセルで中には黒い種が入っていて、ふるとからからと音がすることでしょう。黄色の皮にはサポニンという物質が含まれ、これは石鹸と同じ油を分解する働きがあります。昔は無患子の実で洗濯をしたり髪を洗ったりしたといわれています。そして、中の黒い種に穴を開けて羽根をつけるとお正月の羽根突きに使うつくばねになります。

羽根突きという遊びはもともと邪気を払う陰陽道の秘伝であったものが、いつの間にか一般にも知られるようになったものといわれています。乾いた音を立ててつくばねを打ち合せて新たな年の無事を祈ったのです。

中山では法華経寺妙見堂のそばにおそらく一本無患子の木があります。結びにあえてこの木を取り上げたのは、ただ一本の樹木すら人の暮らしと切り離すことができないことをご覧に入れたいたからです。このマップを手に法華経寺を東山魁夷記念館を目指し歩かれるときに、少しでも風景のなかに隠された物語に触れていただけたら幸いです。

#### そば処 玉家

国産のそばを使った各種そばや丼が中心です。高級そば用そばが中心です。高級そば用そばが中心です。高級そば用そばが中心です。

住所：市川市中山4-14-3  
電話：047-335-4550  
定休日：日曜日  
営業時間：午前11時～午後8時30分

#### 宝月堂（菓子小売）

法華経寺参拝の常連さん馴染みのお土産、駄菓子その他、秋は八雲の落花生、正月は千支グッツが人気です。長年親しまれた、おぼろのいるお店です。

住所：市川市中山4-14-4  
電話：047-335-2969  
定休日：不定休  
営業時間：午前10時～午後6時30分

#### ヘアーサロン サカイ（理容）

チェーン店に負けじと、三代目店主が「地元の床屋さんで低料金にチャレンジ！総合理容（カット・シャンプー・顔剃り）」  
平日1500円 土・日・祝1800円  
お昼前まで+2500円 予約優先！お気軽にお電話を。

住所：市川市中山4-8-9  
電話：047-335-2869  
定休日：月曜日  
営業時間：午前9時～午後7時

市川市文化国際部文化振興担当

URL <http://www.city.ichikawa.lg.jp/catpage/bunkakanko-bunka.html>

協力 (財)市川市文化振興財団  
中山まちづくり協議会  
中山参道商店会

Copyright © 2008 Ichikawa City.all rights reserved.

#### とむら菓子舗（和菓子）

慶中、参拝のお土産向けの老舗です。「香柑」が菓子博覧会の栄誉賞を受賞するなど味は折り紙つき。休憩スペースもありお茶と一緒に自製の和菓子で一休みできます。

住所：市川市中山4-7-16  
電話：047-334-2882  
定休日：水曜日  
営業時間：午前9時30分～午後6時30分 ※要確認

#### 下総 松月堂（和菓子）

九十年の伝統を持ち、素材にこだわった創作和菓子（ふっくら、カステラ大福など）のほか、法華経寺の行事に合わせた豆大福、あんみつ、おぼろなど、四季折々の商品も魅力。

住所：市川市中山4-15-1  
電話：047-334-3472  
定休日：原則水曜日  
営業時間：午前9時～午後8時

#### ヘアーサロンM's（理容）

平日は毎日シニアデー（60歳以上の方）  
カット通常3800円～2800円  
レイズシェービングエステプラス ¥4000（シェービング+エステ+海苔マスク+ヘッドスパ）  
ぜひ来店下さい。

住所：市川市中山4-7-15  
電話：047-333-7449  
定休日：月曜日  
営業時間：平日 午前10時～午後8時  
土日祝 午前9時～午後7時